



ススキの穂揺れる草原に映える
先人より受け継がれし伝統の技



10 2010
月

木落牧野 - 草小積み、伝統ある農の営み -

冬のあいだ、牛舎で暮らす牛馬の飼料とするため、彼岸を過ぎた阿蘇の草原では一斉に刈り取りが始まります。刈り取った草を保存するために作る草小積みは、農の営みの中で長く受け継がれてきた伝統の一つです。伝統ある草小積みの風景も後世に残していきたいものです。

日	月	火	水	木	金	土
	 ヒゴシオン <small>見られる時期: 8~10月</small>		 ツクシフウロ <small>見られる時期: 8~10月</small>		1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 体育の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 / 31	25	26	27	28	29	30

阿蘇草原再生事業⑦ - グリーンワーカー

環境省では、毎年12月から1月にかけて、地元牧野組合の方々と協力してミルクロードや、やまなみハイウェイ等の幹線道路沿いに草小積みを設置しています。冬の風物詩が心をなごませてくれます。



草原へ繰り出す 草原に親しむ 草原と人をつなぐ思い出の一コマ



11

2010
月

町古閑牧野 - 草原遊び、ロールペイント -

大型機械「ロールベアラー」で刈り取られた干し草は、ラップで巻かれ、白いロールで保存されます。町古閑牧野では、子どもたちが草原に親しむきっかけになればと、ロールに思い思いの絵を描いてもらうイベントを行いました。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 文化の日	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27
28	29	30		 ウメバチソウ 見られる時期：10～11月		 リンドウ 見られる時期：10～11月

阿蘇草原再生事業⑧ - 草原再生モニタリング

環境省では、事業を行った牧野組合に定期的なヒアリングを実施し、労力の軽減状況、利用状況等について検証を行います。また、希少種を含む草原性動植物についても継続的なモニタリング調査を行い、適切な維持管理手法について検証します。

